

どういん

議会だより
133号



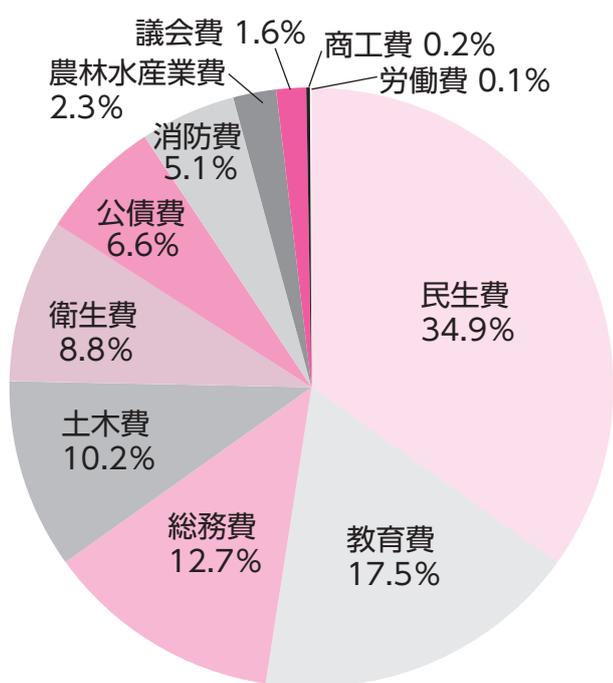
どう使われた みんなのお金 2

- ・ 町政を問う（一般質問） 9
- ・ 委員会活動レポート 20
- ・ 傍聴者の声 21

平成29年10月20日

9月定例会

発行 三重県東員町議会



みんなのお金
使われた



「まちの形を変える」「人に優しい地域をつくる」「未来へ投資する」の3本柱を基本に事業計画された平成28年度一般会計の決算額は、財政調整基金（貯金）の取り崩しを含め、預かったお金の総額は80億2599万43円、使ったお金の総額は76億5845万939円でした。

民生費	町民のみなさんの一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費です。	26億7557万 377円
教育費	教育全般の管理事務・学校教育・社会教育・社会体育などに係る経費です。	13億4030万3085円
総務費	全般的な管理事務、庁舎管理、徴税、戸籍、選挙費用などです。	9億7008万6846円
土木費	町民のみなさんが使う道路・公園などの建設や維持管理、都市計画に係る経費です。下水道事業特別会計への支出も含まれます。	7億8315万5399円
衛生費	健康で衛生的な生活環境を保持するための経費です。予防接種、ごみ処理などの費用です。	6億7387万6231円
公債費	借りたお金の返済金(元金と利息)です。	5億 368万5836円
消防費	消防や災害対策などの経費です。	3億9085万6392円
農林水産業費	農林水産業の振興に係る経費です。	1億7699万 855円
議会費	議会活動に必要な経費です。	1億2273万4134円
商工費	商工業の振興、観光などに係る経費です。	1452万5810円
労働費	労働福祉の事業に必要な経費です。	666万5974円

9月定例会は、9月1日から21日までの会期で開かれました。平成28年度決算、平成29年度一般会計補正予算や国保・介護特別会計補正予算など、認定6件と議案7件、発議2件を全会一致、一部賛成多数で原案のとおり認定・可決しました。

主な使いみち



3億9131万1421円

じんかい 塵芥処理経費

各家庭から排出されるごみの回収を計画的に実施しました。ごみ総量は過去10年で最少となりました。



1億3502万7000円

防災・安全交付金事業

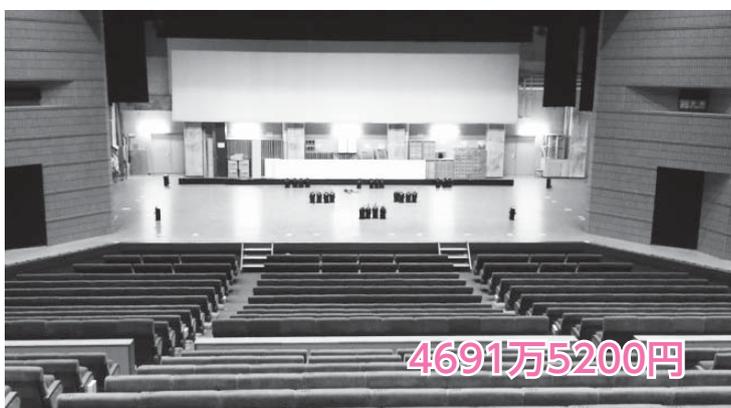
国の補助事業で、交通量が多く舗装の損傷が激しい町道の補修や橋の長寿命化工事をしました。



3144万7578円

小学校施設設備費

笹尾西小学校のグラウンド改修工事や神田・笹尾東小学校トイレ改修工事など、学習環境の向上を図りました。



4691万5200円

ひばりホール改修工事

耐用年数が経過した舞台などの照明設備の取り替えや音響設備改修をしました。



3248万5056円

消防施設経費

老朽化に伴い、防災行政無線操作卓をデジタル方式に更新する工事や消防水利の維持管理に使用しました。

反対討論（大崎議員）

主な反対理由は、地方交付税にトップランナー方式が導入され、770万円の影響を受けました。

元気老人サロン事業は、地域には必要な支援で継続すべきです。また、保育士は若い方の採用で正規職員を増やすべきです。

サル、インシシなどの被害から住民を守るために、以前の鳥獣対策費の復活を求めて反対討論とします。

賛成討論（山崎議員）

町民税収入の減少が続いていますが、財政力指数、実質公債費比率から見ると健全な財政が維持されています。また、執行部から各事業の説明を受け、慎重に審議しました。

行財政改革と事務事業を見直し、経費を削減した上で、地域課題解決の取り組みが行われ、町民に有益であったと認めますので、賛成します。

平成28年度特別会計・企業会計決算の状況は

国民健康保険	予算現額は34億2159万7千円で、収入済額は35億516万8434円(前年度比4.8%増)、支出済額は32億6504万6724円(前年度比4.4%増)となりました。全会一致で認定しました。
後期高齢者医療	予算現額は2億5868万8千円で、収入済額は2億5633万4652円(前年度比12.4%増)、支出済額は2億5569万8291円(前年度比12.4%増)となりました。賛成多数で認定しました。
介護保険	予算現額は17億784万4千円で、収入済額は16億3819万7668円(前年度比1.9%増)で、支出済額は14億3370万6740円(前年度比△3.6%減)となりました。賛成多数で認定しました。
下水道事業	予算現額は9億4597万7千円で、収入済額は9億6733万7692円(前年度比11.2%増)、支出済額は8億8908万6270円(前年度比9.3%増)となりました。全会一致で認定しました。
上水道事業	給水状況は、年間配水量314万1449立方メートルで、年間有収率は90.8%になりました。収益的収支決算では4158万1492円の利益がありました。全会一致で認定しました。

後期高齢者医療

反対討論(大崎議員)

保険料が6・13%引き上げられ、均等割りでは8年間で7千円アップとなりました。

軽減対象者は被保険者の約50%です。年金を頼りにする高齢者にとつては軽減されても厳しい状況にありますので反対します。

賛成討論(石垣議員)

三重県内全ての市町が加入する「三重県後期高齢者医療広域連合」との連携を基に、適切な財政運営や事業運営が行われているため、賛成します。

介護保険

反対討論(大崎議員)

医療介護総合確保推進法の改悪で、新総合事業が始まりました。保険料は低所得者軽減措置はありますが滞納額は増えています。

低所得者への減免制度を求めて反対します。

賛成討論(石垣議員)

介護予防事業が適切に行われていました。

また、介護を必要とする人が、自立した日常生活を地域で営むことができる事業が行われているため、賛成します。

一般会計
補正予算

既定予算に歳入歳出それぞれ1906万7千円を増額補正し、予算総額は76億7542万7千円になりました。

都市計画経費



863万円

東員駅周辺の発展を図るため、住居系を中心とした市街地形成に向けた市街化編入計画を策定する業務委託です。

東員駅周辺の発展のため市街化編入計画を策定

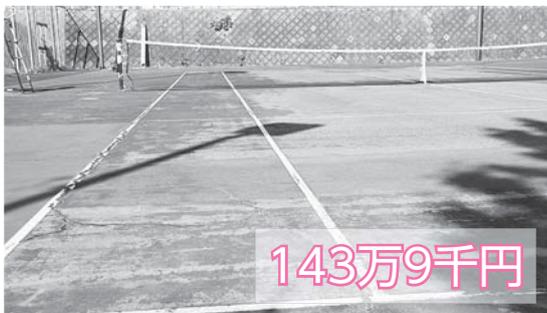
コミュニティバス事業費



88万8千円

オレンジバスの利便性を向上するため県の交通見える化活用モデル事業を活用し、乗降者数の「見える化」のシステム構築費用と使用料などの経費です。これに伴い、バスの乗降・利用者ヒアリング調査の費用は減額となります。

体育振興経費



143万9千円

安全に体育施設を使用できるように城山テニスコート、町民プール流水ポンプなどの修繕費用です。

墓地公園管理運営経費



116万4千円

墓地区画返還者が想定以上に増加したため墓地公園永代使用料還付金です。

国民健康保険

歳出では平成28年度療養給付費交付金の精算に伴う還付金を支払うため、歳入歳出それぞれ480万7千円を増額補正し、予算総額は32億9350万7千円となりました。

審議の結果、全会一致で可決しました。

介護保険

歳出では平成28年度支払基金交付金の内、介護給付費交付金の精算に伴う返還金を、歳入では支払基金交付金の内、地域支援事業交付金の精算に伴う追加交付金などです。

歳入歳出予算をそれぞれ17万9千円を増額補正し、予算総額は18億8927万9千円となりました。

審議の結果、全会一致で可決しました。

委員会での主な質疑コーナー

決算認定

問 障害福祉事業の具体的な就労支援の成果を伺います。

答 就労の理解を得るため会社訪問や説明会などを行っています。就労実績は昨年度よりも上回りました。

問 法人町民税が減収となつていますが、今後の見通しはどうですか。

答 一部の企業で円高差益などにより一時的に収益が上がりましたが、平成28年度は従前の税収に戻りました。過去のような増収は見込めません。

問 観光協会の現状と見通しを伺います。

答 観光協会は、平成28年度から組織の高齢化などが原因で休眠状態になりました。今後は、再興してほしいですが、総会も開けない状況と聞いています。

補正予算

問 東員町の高齢化率は27・7%とかなり高いですが、どのように推移すると考えていますか。

答 毎年1ポイント増え、予測としては平成32年ごろには約33%を見込んでいます。

問 自治会集会所整備補助金に、今回の測量設計委託料は含まれるのですか。

答 含まれません。用地の整備までは、町で行うこととなります。



息のそろったエイサー



そば 田園に広がる蕎麦の花

国に意見書を提出しました

9月定例会に総務建設常任委員会と議員から意見書（案）が提出され、全会一致で可決し下記の意見書を提出しました。

道路整備に係る補助率等の
かさ上げ措置の継続を求め
る意見書

現在、地方道路の整備に
対しては「道路整備事業に
係る国の財政上の特別措置
に関する法律」の規定によ
り、補助率のかさ上げがさ
れていきます。

しかし、この法律の規定
によるかさ上げ措置は、平
成19年度から平成29年度ま
での時限措置で、本年度末
で失効することになってい
ます。

この補助率のかさ上げ措
置が廃止されると、地方自
治体の道路整備に係る財源
が不足することになり、地
域のニーズを踏まえた必要
な道路整備に大きな影響を
及ぼすことが心配されます。
補助率のかさ上げ措置が、
平成30年度以降も継続され
るよう、国に意見書を提出
しました。

（提出者・総務建設常任委員会云）

受動喫煙防止対策を進める
ために健康増進法の改正を
求める意見書

受動喫煙を防止するには、
何よりも「たばこの煙」が
深刻な健康被害を招くこと
を、国民に啓発していくこ
とが重要です。

国民の健康を最優先に考
え、受動喫煙防止対策の取
り組みを進めるため、罰則
付き規制を図る健康増進法
の早急な改正を強く求める
意見書を国に提出しました。

（提出者・川瀬孝代議員）



東員町の風物詩コスモス畑

監査委員の決算審査意見

- ◎平成28年度の一般会計における決算額は、歳入80億2599万円、歳出76億5845万1千円で、前年度と比較すると歳入で4.9%の減額、歳出で3.7%の減額の決算となり、予算現額80億3676万6千円に対する執行率は、歳入で99.9%、歳出で95.3%となった。
- ◎財政力を評価する財政力指数は0.823で前年度より0.028ポイントの増となった。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は89.9%で前年度より4.8ポイントの増となり、財政構造の硬直化が進む結果となった。
- ◎公債費の一般財源にしめる割合を示す実質公債費率は、3.9%で前年度より0.7%低くなっており、警戒ラインである15%を大きく下回っている。
- ◎これまで行財政改革、事務事業の見直しなど、経費の削減に取り組んでいるが、今後においても事務事業の執行にあたっては、効果的な予算執行に努められたい。
今後の社会経済情勢の変化を的確に把握する中で、事務事業評価による事務の見直しや効率的な歳出の削減、地域資源の活用を図り、健全な財政を維持しつつ、町民の満足度を高める施策を展開されることを切に望むものである。

（決算審査意見書から抜粋）



各議員の賛否

平成29年第3回(9月)定例会

審議結果	議案名	議員名													
		大谷勝治	片松雅弘	三林浩	石垣智矢	山崎まゆみ	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	水谷喜和	鷺田昭男	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎	大崎潤子
可決	教育委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	東員町庁舎2階空調設備等改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成28年度東員町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	東員町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定	平成28年度東員町一般会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
認定	平成28年度東員町国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定	平成28年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
認定	平成28年度東員町介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
認定	平成28年度東員町下水道事業特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
認定	平成28年度東員町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

議長(-)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

一般質問

町政を問う

1. 片松 雅弘…………… 10	1. 全員参加型のまちづくりについて 2. 交通事故防止について
2. 南部 豊…………… 11	1. 光冷暖システム導入について 2. 東員町の将来展望について
3. 大崎 潤子…………… 12	1. 国保について 2. 子ども医療費助成について 3. 農業について 4. 水道問題について
4. 山本陽一郎…………… 13	1. 行政について
5. 川瀬 孝代…………… 14	1. がん予防について 2. 就学援助の対応について 3. 災害対策について
6. 水谷 喜和…………… 15	1. 町有地の雑草対策について
7. 山崎まゆみ…………… 16	1. 「東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について 2. 地方創生加速化交付金を活用した事業について
8. 大谷 勝治…………… 17	1. 歩道整備について 2. 道路の維持管理について 3. 災害時の避難所体育館のトイレについて
9. 近藤 敏彦…………… 18	1. 情報伝達の方法と重要性について 2. 行政の事務の効率化について
10. 三林 浩…………… 19	1. 火災について 2. 歩道整備について

一般質問とは、町行財政全般について、町長の考えや疑問点を質す政策論議のことであり、ただいい、定例会のみ行われます。

今定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。

原稿は質問者が作成したものを掲載しています。

全員参加の町づくりは 構築を推進しています



片松 雅弘

問

一億総活躍社会の実現には、老若男女問わず、家庭や職場、また地域など、あらゆる場で誰もが活躍できる、いわば「全員参加の社会」の実現加速を図るため、さまざまな施策が打ち出されています。高齢者の社会参加、地域力向上の取り組みを伺います。

答

町長 高齢者の皆さんや就業の機会、地域活動や交流の機会を確保するため、シルバー人材センターやシニアクラブ活動を支援しています。また豊かな知識、技術や経験を生かしながら「地域社会を支える担い手」として活躍していただけるよう、地域ボランティア制度や生活支援コーディネーターによる「地域支えあいの仕組み」の構築を推進しています。

地域力向上の取り組みは、社会福祉協議会が、自治会

単位で地域座談会を開いて、地域で困っている課題を住民と一緒に解決策を図り、支え合いのための課題に取り組んでいます。

交通安全対策は

問

町道だけでなく国道県道の路面表示が町内全般に消えている、または消えかけている所が多く見られます。

答

建設部長 町が管理する道路の路面表示の状況は、日常の道路点検などで確認し把握しています。利用状況によって優先箇所を決め、予算の範囲内で補修を行っています。

しかし、横断歩道や停止線など交通規制を伴う路面表示は、所轄警察での対応となりますので、いなべ警察署へ再度強く要望していきます。

笹尾東入り口から神田変電所までのセンターラインが消えています。また、神田変電所前と第二中学校周辺の横断歩道は、ほとんど消えています。交差点の停止線も消えて認識できない所も多くあります。

特に交通量の多い交差点付近の路面表示が消えています。事故が起きる前に、町民の命と財産を守り、安全安心のため、速やかに対処できませんか。



お茶しませんか

南部 豊



光冷暖システムとは

ふくしやねつ

輻射熱を利用する方法です

問

保健福祉センター療育室に導入予定の光冷暖システムについて伺います。

- ①導入しようとする要因は。
- ②ランニングコストなど管理経費のメリットは。
- ③初期費用はいくらですか。
- ④人体への影響はありますか。

答

町長 ①輻射熱を利用する方法で、音や

送風がなく、部屋の中では温度が均一に保たれ、理想の環境を提供してくれるため、大きな効果が期待できます。

②消費電力は、通常のエアコンの3割から半分程度との実績報告があります。また、毎年の保守点検も必要がないと聞いています。ランニングコストの軽減が期待されます。
③設置する機器は、事業者より無償提供してもらい、電源などの施工費用は、今年度12月の補正予算に計上する予定です。

町の将来展望は

問

東員町の未来へとつなぐ都市計画について伺います。

①東員駅周辺に第一中学校を移転する考えはありますか。

②文化センター東側に建設される一般県道桑名東員線の進捗状況と、地区および関係者説明会の開催予定はありますか。

答

町長 ①建築後50年が経過しており、学校施設整備計画検討委員会を設置し、移転も視野に入れて検討していきます。

建設部長 ②都市計画道路として位置づけされています。東員インターチェンジへのアクセス性を高めるた

めに、役場庁舎東側の南北に通過する路線を見直し、県が詳細設計を行っていただきます。

今年度中には地権者への事業説明、境界立ち合いを実施する予定です。



建築後50年の第一中学校

子ども医療費窓口無料化を 必要性は感じています



大崎 潤子

問

子どもの医療費「窓口無料」は全国38都府県で実施されています。

県は、窓口無料を実施している自治体に国が補助金減額を科していることを理由に実施していません。しかし、来年度から、未就学児童部分の補助金減額は行わないことになりました。

子どもの貧困が問題とされ、経済格差が進む中で、急病のとき、手持ちのお金がなくても医者にかかるといふ「窓口無料」は切実です。

県内では鈴鹿市が始まり、来年度は四日市市、伊賀市、名張市などでも実施を決めています。若い世代を応援する政策の一つとして実施すべきです。また、桑員地区の医師会との話し合いはされましたか。

答

生活部長 県と市町で構成する福祉医療費助成制度改革検討委員会

で、県としての窓口無料化の考え方を、本年度内に一定の結論が示される予定になっていきます。

町としても、経済的負担の軽減や子育てしやすい環境を整備するためにも、導入の必要性を十分認識していますが、全市町が一斉に実施できる制度が望ましいと考えています。現時点では、桑員地区の医師会と協議などは行っていません。

住民への情報提供は

問

来年4月から、国民健康保険の財政運営が県に統一されます。

3月には保険料の仮算定が行われ、一人当たり平均6・6%の保険料値上げが考えられていますが、公表はされていません。最終決定する前に被保険者への十分な説明が必要で、7月に国保制度を変更するとチラシが郵送されましたが説明はありませんでした。わずかな期間で枠組みを変更し、その翌年から実施する進め方は乱暴です。しっかりと説明を求めます。

答

生活部長 加入者に負担増が見込まれる市町は、保険料の激変緩和

措置がとられる予定です。加入者の理解が大切と認識しているため、丁寧な説明と広報などで周知していきます。

国民健康保険制度の見直しによる効果
都道府県内での保険料負担の公平な支え合い

平成30年4月から国民健康保険制度が変わります
この10年で、30歳以上の高齢者数は1.3倍に、国民健康保険料は1.3倍に増えました。国民健康保険の負担が重くなる一方で、国民健康保険料の負担が公平に支え合えるように、国民健康保険制度を見直し、平成30年4月から、国民健康保険制度が変わります。

効果① 都道府県内での保険料負担の公平な支え合い

効果② サービスの拡充と保険者機能の強化

国民健康保険は、国民皆保険の最後の砦です。
持続可能な社会保障制度の確立を図るため、平成30年度からの制度見直しに合わせ、ご負担の軽減を図ります。

国民健康保険の窓口は、平成30年4月以降も引き続きおなじみです。

問い合わせ先
東員町役場 生活部 保険年金課
電話 0594-86-2805

OMIGOTOIN

国保のチラシご覧になりましたか

東員町の将来図は

誰もが住みよいまちにします

問

この国の社会は、激動する世界情勢に翻弄ほうろうされています。また大変な少子高齢化社会を迎えて、国の基本理念である憲法改正の重い課題があります。国家国民の存亡をかけた安全保障体制の構築を始め、1千兆円を超える国家財政赤字や年金、格差問題、さら

には打ち続く自然災害への対応と備えなど、まさに国難といふべきときです。

国の縮図ともいえる地方自治体、中でも東員町は将来にわたり安泰に推移する保障はあり得ないと思いません。

今回、都市計画マスタープランの改定にあたり、町長はいかなる決意と信念をもって、この町の将来図を描こうとしているのか伺います。

答

町長 高齢化や生産年齢人口の減少により、経済活動を含めた社会構造に重大な影響が出てきています。

町の人口は、このまま特

別な施策を行わなければ、10年後には2万人まで減少すると推測されています。

また、他市町と比べて団塊の世代が多く、高齢化に伴い住民税の減少や医療などの社会保障関係費が大幅に増加し、財政状況は年々厳しくなっています。

第5次東員町総合計画では、多様な地域・世代間の交流があり、身近な自然、交通や公共公益施設の利便性など、コンパクトにまとめた誰もが住みよい定住の場づくりを目標に掲げています。

この目標こそが急務な課題であり、町の貴重な土地をより有効に活用できるようにするため、現在都市計画マスタープランの改定を進め、町の形を変えようとしています。

今後は、既存集落の活力の推進を図るとともに、人口を増やすための住宅開発などを進め、新たな交流拠

点の形成を目指していきます。

現在、都市計画マスタープランは、最終修正に入っています。9月末には決定し、公表と考えています。



山本陽一郎



まちの将来図は

がん予防は 適正に実施していきます



川瀬孝代

問 がんは国民の二人に一人が病気になる国民病といわれています。がんに対する正しい知識を学ぶ、命の大切さを考える「がん教育」の実施への考えを伺います。

答 次に、女性特有のがんの中で子宮頸がんはウイルス感染が原因です。HPV検査は細胞中のHPVの存在を直接調べ、前がん病変の発見精度が高いといわれており、将来の発症リスクを予測するのに役立ちます。導入への考えを伺います。

教育長 小学校では6年生の保健の時間で、中学校では2年生の保健体育の時間で生活習慣病の一つとして学んでいます。早期発見による治療で命が救われることや健康診断の重要性を授業で扱っています。がん教育推進のため、教材の紹介や研修会の周知など、健康教育の一環として取り組んでいきます。

福祉部長 町の子宮頸がん検査は、国のがん検診の指針に基づき、細胞診による検診を実施しています。現段階では、死亡率や浸潤がん罹患率減少効果の有無を判断する証拠は不十分とされ、推奨されていません。

しかし、精度や有効性の検討が行われ、研究成果から推奨されたら国のガイドラインに基づき、適正に実施していきます。

災害対策は

問 避難所への避難準備は必要ですが、在宅避難も選択肢の一つです。被災後も自宅で暮らせる備えや具体的に対応するための知識・心構えを日ごろから考えておく必要があります。

答 女性の視点から災害に備えるためのアドバイザーによる講演会・研修会など実施してはどうですか。

町長 町では家具の転倒防止対策に重点を置き、命を守る対策を周知しています。在宅避難の場合は、備蓄食料品などの管理やライフラインが使えないときの調理方法など、災害への備えとして知識が必要です。

女性目線での対策は重要な視点です。講演会などの開催は「女性の防災リーダー」育成のためにも取り組んでいきます。



非常食は栄養バランスも考えて用意

草刈り委託契約の見直しは

要請があれば検討します

問

雑草軽減策の一環として「雑草より強い雑草」といわれるセンチピードグラス・スライフブレアの実証圃まに取り組まれています。その生育状況はどうですか。町として継続的に実施しますか。

また、自治会や団体などが、町有地の雑草軽減対策

活動を実施する場合の支援策は考えていますか。

在来地区と契約している「町道等草刈業務委託契約」の内容と契約基準を伺います。

答

建設部長 実証圃は6月から陸上競技場北側の町道で実施しており、順調に生育しています。

今後、1年ほどかけて、作業軽減・費用対効果を考えます。自治会などの雑草軽減活動も成果などを踏まえ検討していきます。

在来12自治会との「委託契約」は、必要性が高い主要な町道、河川堤防、交通量の多い路線、通学路など交通安全や防犯上の観点から

考慮して契約しています。春・秋の年2回の草刈りを実施しています。契約路線の延長は約44kmで、在来地区内の町道総延長170kmの25%です。指定路線以外の路線は、均等割額を加算して対応しています。契約金額は625万9500円です。

再質問（一問一答）

問

ネオポリス地区内の高圧線下など、草刈り作業の大半は業者委託です。面積は在来地区の約7分の1の9万㎡で、約2千万円の契約で実施されています。作業方法、歴史的背景の相違もあり、在来地区も同様な契約とは考えませんが、在来地区の「町道等草刈業務委託契約」の自治会別の契約指定路線延長と均等割算出額には、明らかに不公平があります。

より良いまちづくりのために、各自治会では春・秋

の2回、地区全域を総出で草刈り作業を実施しています。参加者数、面積を考慮して、地域間公平に改めるべきと考えます。

答

町長 自治会間にも公平があるなら是正するよう努めます。
建設部長 自治会から要請があれば、自治会長会で検討します。



水谷 喜和



地域で草刈り作業

若者・女性・高齢者の就労は 雇用の場の確保を目指します



山崎まゆみ

問

平成26年に「まち・ひと・しごと総合戦略」として

策定し、人口減少を抑制し、人と仕事の好循環を作りだす取り組みの効果検証をされました。基本目標である「安定した雇用を創出する」について伺います。

①若者・女性・高齢者などの就業率向上はどのようにしますか。

②人材バンクの創設はどのようにしますか。

③「地産地消、特産品の開発」の組織づくりはどのように考えていますか。

答

町長 ①若者や女性の雇用の場を確保し、

東員町で働き生活する若者層の転入促進を目指します。本年4月に新産業創造プロジェクトチームを立ち上げ、新しい農業を核とした雇用の創出や稼げる農業を目指しています。

若者、女性、高齢者、障がい者にとって魅力ある働く場所、住みたい町になるよ

うにします。

②町には、多種多様な技術や経験のある高齢者の方が生活しています。町内企業・行政・地域で活躍していたために「シニア専門人材バンク」の立ち上げに向け、関連する各課で情報共有と調整を行っています。

将来的には高齢者だけでなく、幅広い年齢層から人材を募り、地域課題の解決に向けご尽力いただける仕組みづくりを、市民活動支援センターを中心に検討しています。行政と町民が役割分担をして、個人の力を地域づくりに生かされるように努めます。

建設部参事 ③農家と加工販売事業者が協力して取り組める組織づくりが重要です。

プラットフォームは

問

「まちづくりプラットフォーム」の運用について伺います。

答

総務部長 町のまちづくりを魅力的に発信する特設ウェブサイトを「まちづくりプラットフォーム」と呼んでいます。

「OMIGOTOIN健康活躍のまち東員町」の特設ウェブサイトでは、子育て世代の若者や元気なシニアの方々の活躍などを紹介しています。町民の健康と活躍の場を拡大し、町の魅力向上を目指します。



とういんわくわくフェスタ

元気に活躍される皆さん

大谷 勝治



道路の維持管理は

予算内で補修します

問 道路区画線等の表示が劣化、摩耗している県道や町道があります。

特に横断歩道表示は、確認ができない箇所があり、大変危険と考えますが、現状と対応について伺います。

また、道路面の補修は、どのような対応を実施していますか。

答

建設部長 町が管理する道路の路面表示

は、道路、パトロールなどで確認し把握しています。

路面表示の維持管理は幹線道路や通学路、生活道路などの利用状況により優先箇所を決め、予算の範囲内で補修を行っています。

路面表示には「歩行者注意」などの町が施工できるものと、交通規制を伴う「止まれ」「横断歩道」など、警察が対応する路面表示があります。

交通規制を伴う路面表示の補修は、いなべ警察署へ対応をお願いしていますが、再度強く要望していきます。

次に、道路面などの補修は、舗装の損傷を早期に見出し、簡易な補修は、その場で対応できる体制です。対応できない損傷箇所は、事業者に依頼し、補修しています。

歩道整備は

問

町道穴太弁天2号線は、工事車両の往来

が激しく以前からガードレールの設置、横断歩道の路面標示などの解決がされてきました。

歩道未整備区間について、今後の事業計画を伺います。

答

建設部長 高速バスや大型車両の通行も

多く、歩行者は路肩を通行し危険な道路となっています。歩行者の安全を確保するためにも、現在、東員病院バス停から敵島神社までの歩道未整備区間約290mの概略設計を行っています。

来年度には詳細設計、用地買収を予定しています。平成31年度には工事に着手したいと考えています。



劣化している城山幹線

情報伝達の方法は 広報紙や行政無線などです



近藤 敏彦

問 多種多様な情報をどのような方法で発信しているのか、重要度に応じて違うのかを伺います。

答 総務部長 広報紙や回覧、ケーブルテレビ、防災行政無線、行政情報メール、ホームページ、デジタルサイネージなどがあり、速やかに情報発信するには防災行政無線、行政情報メール、ホームページなどがあります。

再質問（一問一答）

問 行政情報メールの登録は何件ですか。

答 総務部長 8月末時点で2636件です。

問 火災発生時のサイレンや防災無線をなくしたことに對して、多くの町民から不満の声を聞きます。必要と思いますが、これらを復活させる考えはありますか。

答 生活部長 今までは消防団員の招集の手段としてサイレンを鳴らしていましたが、現在は個々の消防団員の携帯電話にメールを配信しているため、復活は考えていません。

問 夏休みのプールが中止になった際に、中止を知らせるメールが、集合時間の2分前に入るといったところがありました。学校の連絡網は十分に機能していますか。

答 教育長 現在、マチコミメールで連絡をしています。緊急性の高いものや通学路が長距離の生徒に向けての発信は、早くするようにします。

事務の効率化は

問 事務の効率化を図るために、さまざまな書類の様式は統一化されていますか。

答 総務部長 各種申請書や報告書など、様式の統一化や変更などにより事務の効率化を図っています。

再質問（一問一答）

問 保育園・幼稚園、小中学校の書類の様式はどうなっていますか。

答 教育長 学校から県への提出書類は全て統一されていますが、各学校でのレポートや学校だよりなどは、それぞれ特徴があり統一されていません。

問 事務量の軽減という観点から、任意の書類の様式を統一してはどうですか。

答 教育長 なかなか難しいですが、簡潔に文章をまとめるよう指導していきます。



早く伝える方法は

三
林
浩



歩道整備着工までの手順は

自治会要望にて検討します

問

平成28年8月に東員インターが開通したことで、普段利用の少ない道路の交通量が増加しています。

- 歩行者の安全を重視し、歩道整備について伺います。
- ①歩道整備に着工するまでの手順はどのようですか。
- ②歩道整備の進捗および計画はどのようですか。

答

建設部長 ①町道の

歩道整備は、新規の設置のみでなく、既設歩道の改修も、地域の声を集約した自治会要望による事業化を検討しています。特に通学路は、学校からの要望で危険箇所を中心に、教育委員会、いなべ警察署、桑名建設事務所と「東員町通学路安全推進会議」で協議をしています。

国の交付金事業などを活用しながら、子どもたちの安心安全のために、順次整備をしています。

②笹尾地内の幹線道路の通学路である歩道は、平成24年度から安全確保のため、

街路樹を撤去して歩道の有効幅員を確保する工事を計画的に行っています。

現在は、東西の幹線を施工中ですが、今後は残りの南北の幹線を改修する計画です。

また、穴太弁天山2号線は、一部歩道が未整備となつています。隣接する医療施設の受診や桑名市の商業施設へ買い物に行く皆さんの安全確保のため、歩道整備を計画しています。

再質問（一問一答）

問

歩道整備について自治会などからの要望を受けて検討するだけでは、現状を見ても、決して整備されているように思えません。

安全パトロール隊など人数を増やし、積極的に取り組む中で、優先順位をつけて整備に取り組むべきです。

答

建設部長 総合的な話として、社会資本整備の総量としては限界があります。財政的に全ての整備は困難なため、重点化を図っていきたいと考えています。



歩行者にやさしい歩道整備を

地域でできることは地域で

うんなん
島根県雲南市
研修日 7月6日
総務建設常任委員会



雲南市の「小規模多機能自治体」による地域活性化の取り組みを研修しました。人口減少や少子高齢化の影響は、税収入が減り、これまでのような公共サービスを行政が担うことが難しくなります。

また、地域コミュニティの絆が弱くなり、自治体だけでは、地域の共同作業や行事が維持できなくなるといった課題があります。



雲南市では、自治会とは別におおむね小学校校区単位で計30の地域自主組織を立ち上げています。自治会は、地域の祭りなどの慣習的な行事活動が中心ですが、地域自主組織の活動は、地域の困りごとなど、課題の解決が中心でした。

地域でできることは地域で担い、地域と行政が共通の認識を持ち、まちの活性化に向けて共に取り組む重要性を再確認しました。

委員会の総括では、東員町でも人口減少や少子高齢化は重要な課題となっています。地域自主組織の果たす役割を検証し、先進地の事例を参考に取り組んでいくことになりました。

よりのまち おがわまち
埼玉県寄居町・小川町議会
研修日 7月19・20日
議会広報常任委員会

愛される議会だよりに



1日目は寄居町議会で「議会広報の編集作業」の取り組みを研修しました。

寄居町議会だよりの特徴は、働く人や頑張る人をテーマに、多くの町民の声や顔写真を掲載し、町民との関わりが強い紙面となっています。

記事の内容を分かりやすくするため、QRコードで詳細部分を紹介する工夫がされていました。

2日目は小川町議会で研修をしました。

小川町議会の広報発行特



別委員会は、紙面のリニューアルを刷新し、議会の堅いイメージを払拭する改革がされていました。

町民参加型のコーナーや町民アンケートを掲載しています。記事には行政用語は使わず、分かりやすい表現を心掛けています。

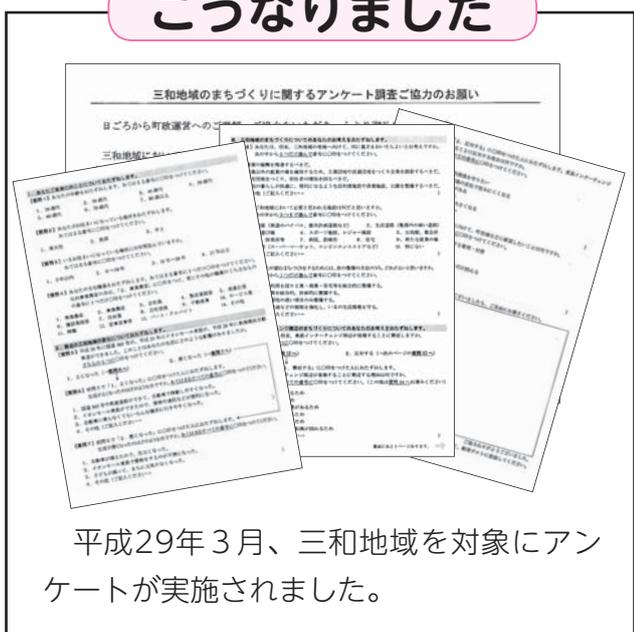
研修を終えて広報委員会では、読みやすい文字の採用と、皆さんの声を記事に掲載することにしました。次号にご期待ください。

追跡

あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

こうなりました



再度アンケート実施を

Q 都市計画マスタープランの「三和地区のまちづくりアンケート」は平成8年に行われた古いアンケート結果です。三和地区を対象に再度アンケートを行っていただけませんか。
(平成28年12月議会)

A アンケートは地元の声を反映させる有効な手段ですので、前向きに取り組んでいきます。

傍聴者の声

9月6日、7日にシニアカレッジの皆さんが9月定例会の一般質問を傍聴されました。たくさん感想を寄せていただきました。(一部を掲載します)

ご意見、ありがとうございます。

・初めて議会を傍聴して、自分がいかに行政について無関心であるか、思い知らされました。これを機に東員町の行く末について考えたいと思います。

・歩道整備について、優先順位をしっかりとつけて前向きに。

・特産品づくり、大変なチャレンジだと思いますが是非諦めずに人材育成も含めて進めてほしい。

・全員参加型社会シニアバンク等、今まで知らなかったことも知ることができました。特に人材バンクについては良いことだと思えます。町のために頑張ってください。

・少子高齢化の中で地域密接の活性化に取り組んでいくのは大切である。我々高齢者は社会貢献できればありがたいと思います。

・駅前開発については、とても関心をもっており、積極的にしていただき、よう関係部内のご尽力をお願いしたい。

・水道問題：水なしでは生活できないから料金改定は仕方ないと思います。

・全体的に質問者(議員)の質問内容が分かりづらい。もっとメリハリをつけて質問してください。

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。

よく読んで答えてください。

問1 9月定例会の会期は9月1日から何日まででしょうか。

問2 総務建設常任委員会の研修先は何県何市でしょうか。

問3 三和メジャーズが出場した全国大会の名称は何でしょうか。

▼応募方法／官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、また議会へのご意見、ご感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒五一一〇二九五 東員町山田一六〇〇番地 東員町議会事務局

▼締切り／平成29年11月30日 (当日消印有効)

※正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

まちの話題

こころと体を育てる (三和メジャーズ)



三重県内16ブロックの頂点に立ち、小学生の甲子園である「高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」に出場を果たしました。三和メジャーズは6年生を中心に14人で活動し、中には女子団員もいます。



監督は技術面だけでなく、礼儀作法、あいさつなどを大切にされた指導をしています。夢見る小さなアスリートたちを皆さん応援してください。



※ご記入いただきました個人情報には、当選者の発表、賞品発送および読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・ご質問などの場合は、その内容に応じ、担当課から報告または回答をさせていただきます。

次回の定例会は
平成29年12月1日に開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

議会広報常任委員会

委員長／石垣智矢
副委員長／山崎まゆみ
委員／大谷勝治・片松雅弘
三林 浩・大崎潤子



三和小学校の伝統(鼓笛隊)

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

表紙の写真 秋晴れの中、みんなで競い合った全校種目の大縄跳び。(第一中学校)

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。